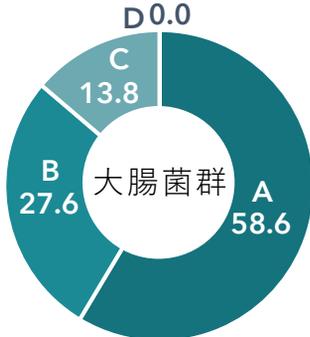
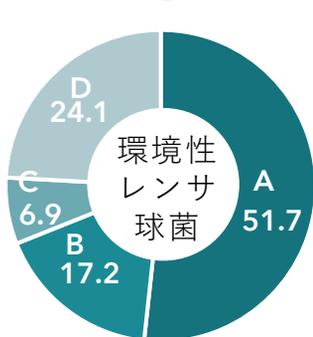
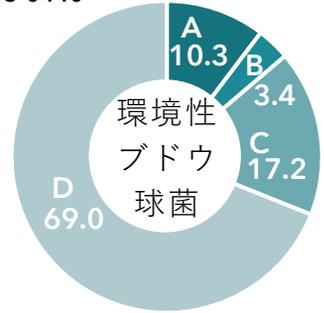
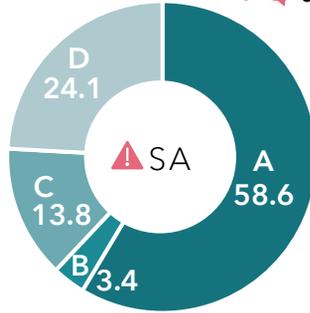
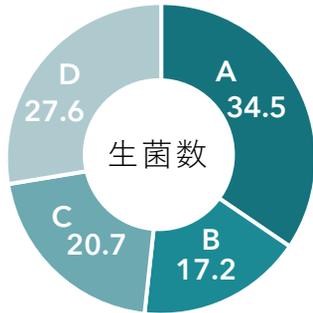




酪農生産性向上対策事業 第1回 **バルク乳** 検査結果

管内の第1回バルク乳検査結果です。搾乳方法や搾乳機器の状態を再確認しましょう。
個体乳検査に加えて、分房ごとの細菌検査・薬剤感受性検査が本事業の中で実施可能になりました。黄色ブドウ球菌(SA)罹患牛の特定や牛群の状態把握等にご活用ください。

牛舎の環境調査も実施しております。詳しくは 家畜保健衛生所までお問い合わせください。
0265-53-0440



採材：R5.5月～6月

判定基準 A：正常/目標 B：やや多い C：多い D：非常に多い
※グラフ内の数字：管内対象農家（29戸）のうちA～D判定の割合（%）

無乳性レンサ球菌、マイコプラズマ検査は全戸陰性でした。
牛ウイルス性下痢ウイルス（BVDV）は1戸で陽性でした。

黄色ブドウ球菌（SA）対策をしましょう

人や牛の皮膚に常在する菌。
伝染性・潜在性乳房炎を起こす。
搾乳により伝播する。

最低限の
対策

- 01 手袋の装着
- 02 前搾り
- 03 保菌牛の最後搾乳
- 04 一頭一布での清拭
- 05 確実なディッピング

できるところから順番に実施しましょう
手順の確認には搾乳立ち会い等ご利用ください